

【事例発表】

団体名： Viva おかざき！！

＜団体紹介＞

2010年設立。愛知県岡崎市を中心に「国籍・文化の壁を越えて誰もが住んでよかった Viva（＝バンザイ）と思える地域社会」のために活動している。外国人向けセミナーや相互理解のための交流イベントから活動をはじめ、2014年より日本語教室や日本人住民と外国人住民をつなぐ人材育成などを行っている。

◆問合せ メール：info@viva-okazaki.com URL：http://viva-okazaki.com/
活動の様子はぜひブログ（http://vivaokazaki0.booo-log.com/）をご覧ください。

＜日本語教室概要＞

日本語教室は、ことばを学ぶだけの場ではなく、外国人住民が知識・情報を得ることができ、さまざまな人と交流できる場になっている。外国人住民が、自分らしく生き生きと暮らし、自立をして、地域を一緒に支えていける存在になるためのサポートを行うために、以下の教室を実施している。

①生活に役立つ日本語教室

外国人住民の実生活につながる日本語と生活知識を学ぶことで、日本社会でできることを増やすことを目的にした教室。地域との接点づくりも積極的に行っている。



◀近所のスーパーで
商品をチェック



◀実際に病院で
受診の流れを確認

②生活に役立つよみかき教室

読み書き能力を育成することで、外国人住民の社会的な自立を目指す教室。デジタル・ストーリーテリングを活用し、外国人住民の自己表現と地域住民の外国人住民への理解を深める場をつくる。



◀自分の想いを語る
フォトビデオを作成



◀一般参加者も含め
作品上映会を実施

③支援に役立つ日本語教室

緊急時・災害時に支援者になるための日本語と知識を学び、地域を支える人材育成を目的とした教室。専門機関と連携をして、専門知識をより実践的に学べるプログラムとするとともに、外国人も支援者になれることを地域に積極的に発信している。



◀日本赤十字社による
応急処置の講座を受講



◀愛知県・岡崎市総合
防災訓練でブース発表

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラムB

第1日目
パネル展

事業実施概要

事業名称	Viva!! つながる日本語プロジェクト2. 0 「多文化共生のプラットフォームとしての日本語教育体制整備事業」			
地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とつながる日本語教育の必要性が認識されていない ・外国人住民の地域参加をつくる／日本語教育に関わる人材の不足 			
事業の目的	日本語教室からの多文化共生のための地域づくりを目指す。また、外国人住民と日本人住民がともに地域参加できる環境づくりのための日本語教育体制整備事業を行う。			
事業内容	取組1		取組2	
	名称	参加型ワークショップとOJTによる日本語教育の担い手育成	名称	暮らしに役立つ日本語教室
	目的	外国人住民を対等な市民として認め寄り添いながら日本語学習支援をできる人材の育成。	目的	外国人の暮らしに役立つ日本語及び知識を、実践を通して学べる場を参加型で提供し、外国人市民・日本人市民の相互理解の場づくりを行う。
	内容	ワークショップで知識や支援のあり方について学び、日本語教室での実践OJT(On the Job Training)を実施。	内容	①生活に役立つ日本語教室、②生活に役立つよみかき教室、③(緊急時・災害時の)支援に役立つ日本語教室
	対象	一般市民、日本語ボランティア等	対象	外国人市民
	時間	ワークショップ:2時間×4回 OJT:4時間×3回(全19時間)	時間	①2H×3回+3H、②2H×10回+3H、 ③3H×11回(全65時間)
	人数	26人	人数	72人
	取組3		取組4	
	名称	Viva つながるセミナー	名称	「つながる」日本語教育の情報発信及びツールの作成
	目的	地域と事業が「つながる」優良事例や他分野(まちづくり、アート等)の地域連携の事例を知り、日本語教室が地域で果たすべき役割を考える。	目的	本事業の成果報告を行うとともに、日本語教室を起点とした多文化共生のための地域づくりについての理解促進を図る。
	内容	外国人市民の社会参加や自己実現を目指した地域との「協働」や「つながり」を意識したセミナーを2回開催。	内容	①成果報告会の実施 ②取組についての冊子作製 ③ブログ及びSNS、記録映像を活用した外部への情報発信
	対象	日本語教育に関心のある市民	対象	一般市民、日本語教育関係者等
	時間	2時間×1回、4時間×1回(全6時間)	時間	成果報告会3時間×1回
	人数	39人	人数	42名
連携体制	岡崎市防災危機管理課、赤十字、外国人コミュニティ(ブラジル、中国、フィリピン)			
成果と課題	成果:日本語教室を起点とした多文化共生の地域づくりを担う人材育成に取組めた。 課題:人材の質をどう確保するか。外国人住民の日本社会での活躍の場をどう作るか。			
参加者の皆様へ一言	取組4で作成した冊子をお配りしますので、ぜひお立ち寄りください。また、人材育成について、どのように取組まれているのか皆さんと意見交換ができればと思います。			